

草原環境維持・再生モデル事業

長野県 諏訪地方事務所 環境課
長野県 環境部 自然保護課

1 内容

平成 22, 23 年度に実施した「霧ヶ峰自然再生推進計画策定調査」で明らかにされた「霧ヶ峰高原の在来植物群」、「外来植物の侵入・定着分布」、「ニホンジカの食害」等の調査結果を基に、在来植生による草原の維持・再生の実証調査を行う。平成 24 年度は、施工面積を一定程度に拡大して事業の実証と効果検証を委託事業により実施する。(平成 24 年度から 2 ヶ年の実施予定)

2 目標

長野県の特徴ある景観のひとつである草原環境の維持・再生を図るため、本モデル事業により、県内の在来植生による、草原環境の維持・再生につなげていくことを目標とする。

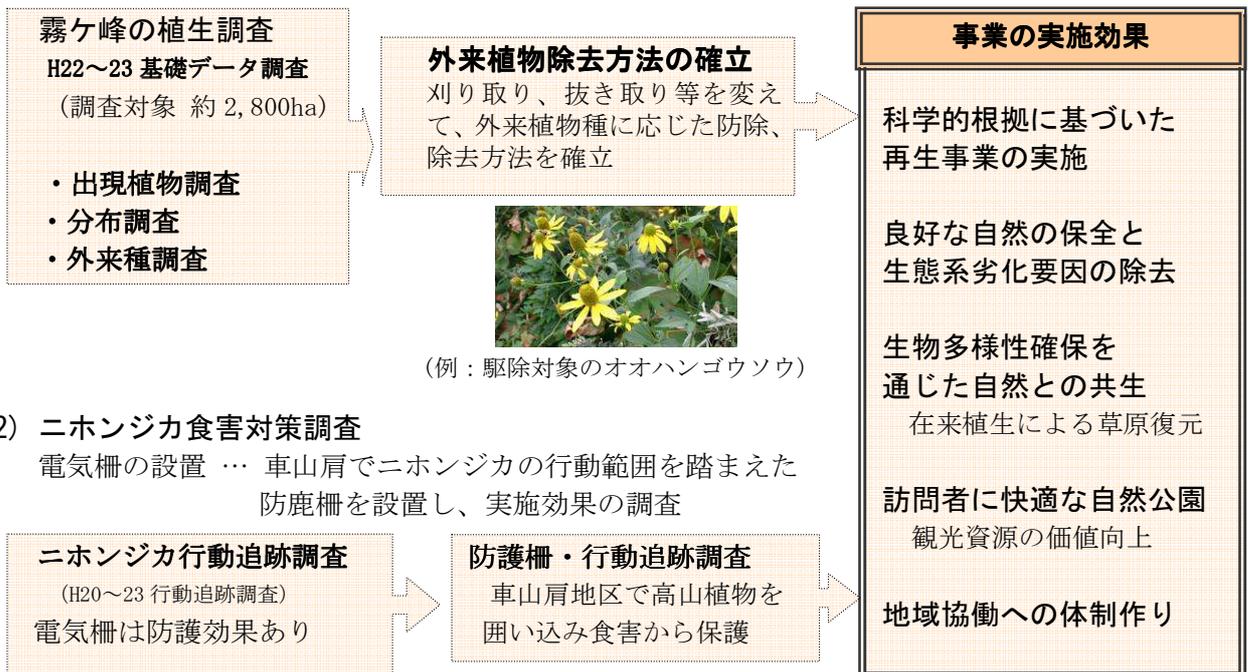
実施効果として、平成 25 年度末に調査報告書と共に一般の方向けに「外来植物防除・駆除の手引き」資料としてまとめ、霧ヶ峰自然環境保全協議会を始め、県民と行政機関の連携した外来植物の対策を展開する。

3 事業内容

(1) 外来植物への対応と植生復元調査

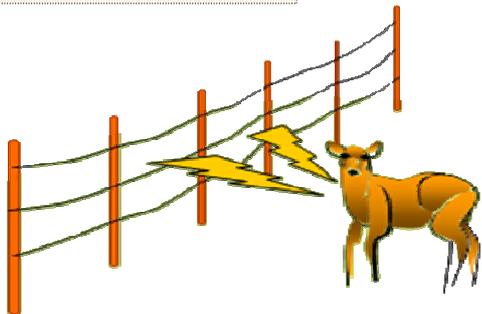
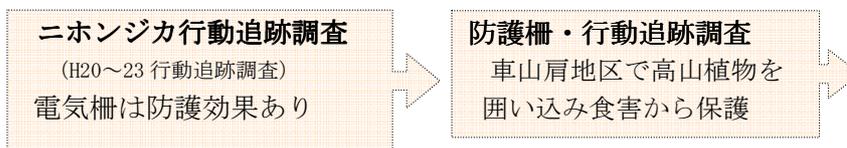
平成 22, 23 年度の全域調査の結果、50 種の外来植物の生育が見られ、全出現種数、出現面積も増加していること。また、人や車が集まりやすい場所で外来植物の出現が多く、在来植物に影響が出るほど優占して生育していることが、明らかになった。

このため、事業の効果が一番表れる強清水地区で、外来植物の駆除方法として刈り取り、抜き取り等、手法や回数、時期を変えて実証し、その効果を分析することで、外来植物除去方法を確立する。



(2) ニホンジカ食害対策調査

電気柵の設置 … 車山肩でニホンジカの行動範囲を踏まえた防鹿柵を設置し、実施効果の調査



4 予算額 (案)

4,800 千円 (緊急雇用創出基金繰入金・重点分野)